

第71期 中間報告書

2017年4月1日～
2017年9月30日



堅調な工事施工と好調な環境関連装置に加え、 諸経費等の削減に努め、増収増益となりました。

株主の皆様には、平素より、当社の事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第71期(平成30年3月期)中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用情勢の改善が継続し、引き続き緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、米国における政策動向や東アジア地域の情勢不安などによる世界経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中にあって当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上やコスト削減を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品・新商品の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、タイの海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,531百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。また、損益面におきましては、営業

利益は366百万円(同18.1%増)、経常利益は371百万円(同16.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は253百万円(同15.6%増)となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき35円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、引き続き厳しい経営環境が予想されますが、これに対応すべく製造・販売・技術が一体となって、より業績の向上に努力してまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

高田 芳治



特殊電極株式会社

証券コード3437

▶ セグメント別業績概況

セグメント別構成比



- 工事施工
- 溶接材料
- 環境関連装置
- その他

工事施工



提案型営業や高度な技術の提供等、各部門一体となり受注拡大に努めたことで前年同四半期比4.8%増となりました。

売上高 **3,311** 百万円
セグメント利益 **474** 百万円

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、鉄鋼関連の保全工事、アルミダイカスト関連工事、刃物関連工事、トッププレート工事の受注が増加したことにより、売上高は3,311百万円(前年同四半期比4.8%増)、セグメント利益は474百万円(同4.1%増)となりました。



溶接材料



新規顧客開拓や既存顧客の深耕等、積極的に販売力強化に努めましたが前年同四半期比0.9%減となりました。

売上高 **653** 百万円
セグメント利益 **114** 百万円

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めましたが、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は260百万円(前年同四半期比0.1%減)、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は393百万円(同1.4%減)となり、溶接材料の合計売上高は653百万円(同0.9%減)、セグメント利益は114百万円(同3.5%減)となりました。



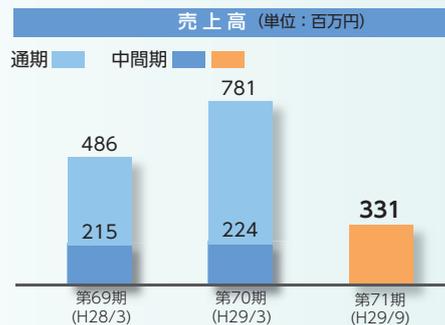
環境関連装置



環境関連装置の受注が大幅に増え、前年同四半期比47.8%増となりました。

売上高 **331** 百万円
セグメント利益 **67** 百万円

環境関連装置の受注が増加したことにより、売上高は331百万円(前年同四半期比47.8%増)、セグメント利益は67百万円(同157.2%増)となりました。



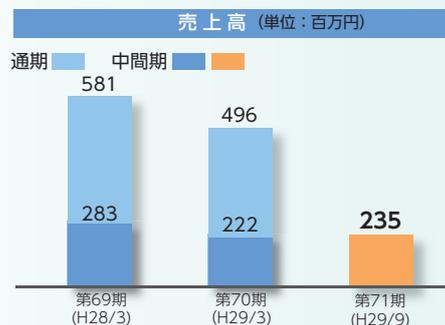
その他



自動車関連のダイカストマシン用部品の受注が伸び前年同四半期比5.9%増となりました。

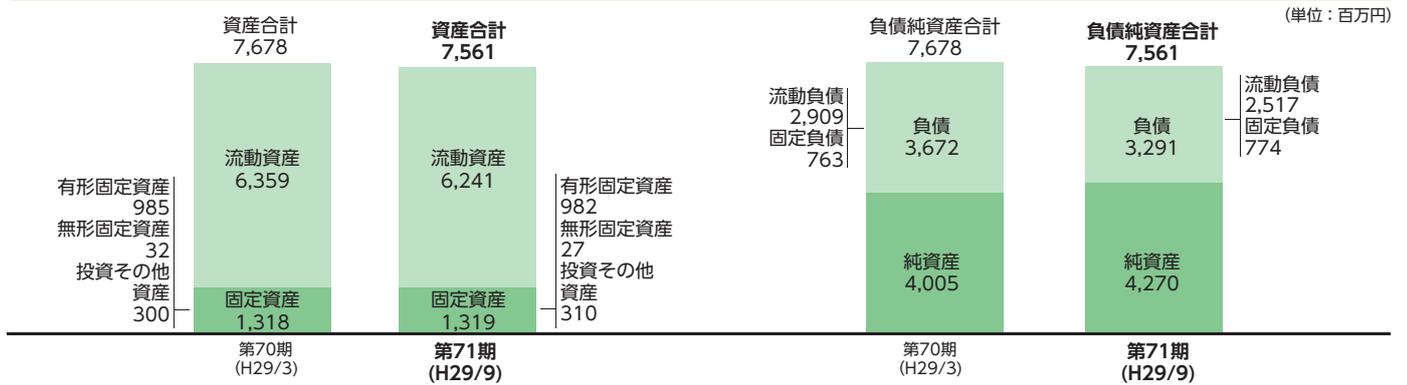
売上高 **235** 百万円
セグメント利益 **13** 百万円

自動車関連のダイカストマシン用部品の受注が増加したことにより、売上高は235百万円(前年同四半期比5.9%増)、セグメント利益は13百万円(同36.2%増)となりました。



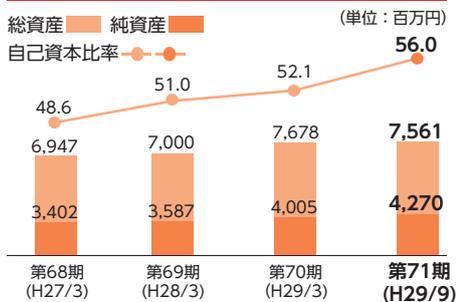
▶ 財務ハイライト

財政状態

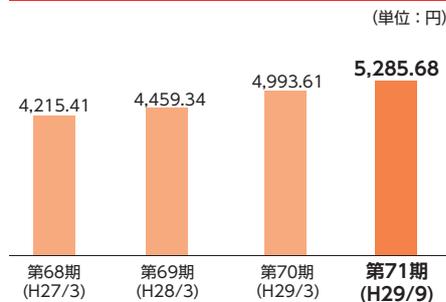


連結財務ハイライト

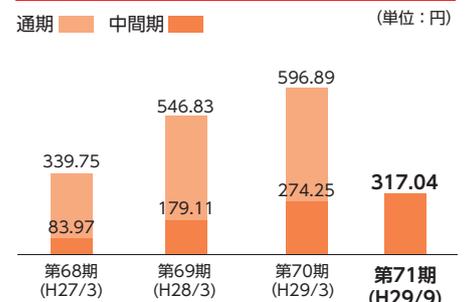
■ 総資産・純資産・自己資本比率



■ 1株当たりの純資産



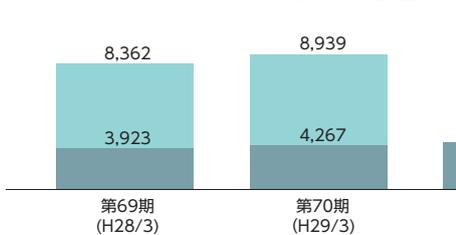
■ 1株当たりの当期(四半期)純利益



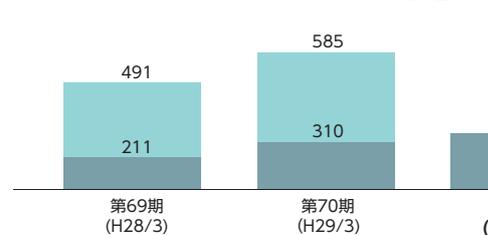
平成27年10月1日に、株式併合(10:1)を実施したため、第68期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

経営成績

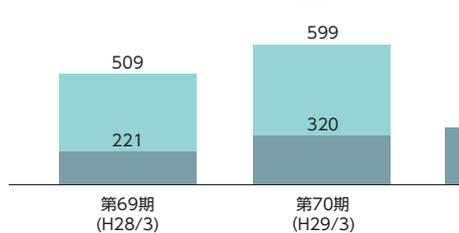
■ 売上高



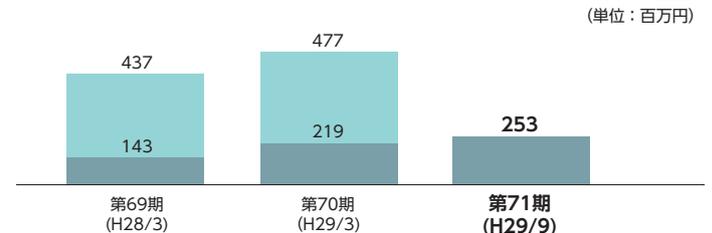
■ 営業利益



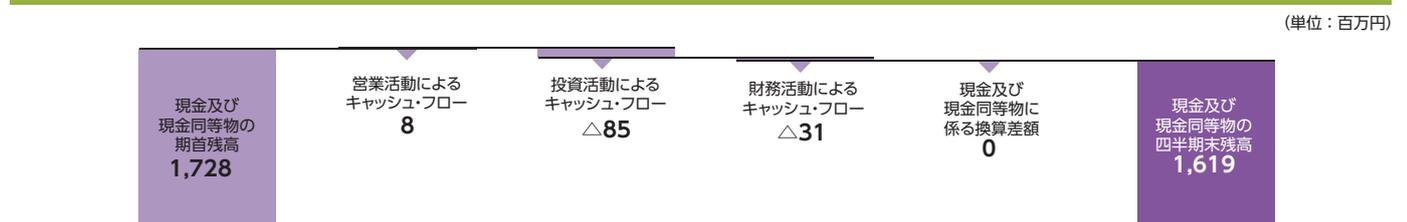
■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



キャッシュフローの状況



会社概要 (平成29年9月30日現在)

会社名 特殊電極株式会社
TOKUDEN CO., LTD.
設立 昭和25年1月26日
資本金 484,812,500円
本社所在地 兵庫県尼崎市昭和通2丁目2番27号
主な事業内容 特殊溶接工事の施工、特殊溶接材料の製造販売
ならびに各種産業用機械装置等の製造販売を主な
事業としております。
従業員数 232名

役員の状況 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長 高田 芳治
常務取締役 上林 克彦 営業本部長
取締役 榎本 美喜 工事本部長
取締役 太田 浩二 尼崎工場長
常勤監査役 北 正己
監査役 藤田 寛
監査役 濱田 雄久

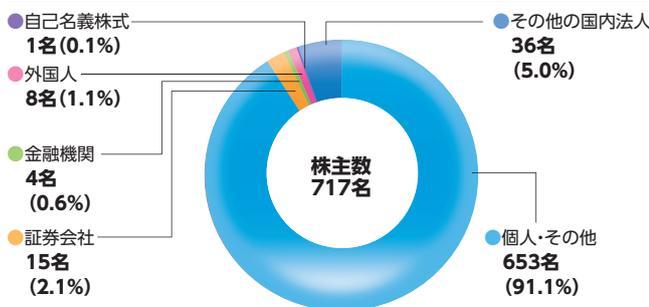
(注) 監査役 北 正己氏及び濱田雄久氏は、社外監査役であります。

株式情報 (平成29年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	2,604,000 株
発行済株式総数	801,000 株
株主数	717 名

所有者別分布状況



大株主 (上位13名)

株主名	持株数	持株比率
特殊電極従業員持株会	62,000株	7.74%
株式会社コムシス	30,700	3.83
宮田純子	27,000	3.37
丸田稔	20,000	2.49
大野昌克	19,000	2.37
坂西啓至	17,000	2.12
福田博	16,800	2.09
株式会社エスアンドピー	15,500	1.93
坂地晃	15,000	1.87
坂本浩司	15,000	1.87
樋口豪也	15,000	1.87
株式会社近畿大阪銀行	15,000	1.87
株式会社みなと銀行	15,000	1.87

(注) 持株比率は、自己株式(452株)を控除して計算しております。

配当方針・実績

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、業績の状況、今後の事業展開等を勘案して、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

	1株当たりの配当金		
	中間	期末	年間
第68期(H27/3)	3.50円	3.50円	7.00円
第69期(H28/3)	3.50円	35.00円	—
第70期(H29/3)	35.00円	35.00円	70.00円
第71期(H30/3)	35.00円	35.00円 (予定)	70.00円 (予定)

(注) 平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しており、平成28年3月期の年間配当金の合計は「-」として記載しております。(当該株式併合を踏まえて換算した場合、平成28年3月期の年間配当金の合計は1株につき70円)

※この中間報告書の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	(1)定時株主総会・期末配当 3月31日 (2)中間配当 9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先(電話照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 ホームページ http://www.tokuden.co.jp
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。